

中学校技術分野 学習指導案

本時の授業

(1) 題材

「ChatGPTを活用して旅行プランを作成しよう」

(2) 目標

- ChatGPTを利用して旅行プランを作成する。
- ChatGPTの特徴や利点を理解し、効果的な活用法を学ぶ。
- ChatGPTの出力結果を元にクラスメイトと協議して考えをまとめる。

(3) 準備

- GIGAスクール端末
- プログラボ「みんなで生成AIコース」
- Googleスライド等のプレゼンテーションソフト
※発表に使用するツールは各校の状況に応じて

(4) 展開

時間	学習内容	学習活動	指導上の留意点
10分	導入	・生徒をグループに分け、それぞれのグループにお客様からの架空のリクエストを与える(3~4名程度) ・各グループはLLMを使って、そのリクエストに基づく旅行プランを立案し、Googleスライドにまとめるよう指示を与える	・個人情報の入力を行わない ・班員と意見を交わすように促す ・スライドの完成度を求めているわけではないことに留意
35分	展開	・与えられたリクエストをLLMに入力し、プランを作成する ・出力された情報を整理し、具体的な旅行プランをまとめる ・生徒がお客様に対するプレゼンテーションの準備をする。	・お客様の好みについて仮説を立てる ・わからないことをLLMに聞いてみるよう促す ・1回の入力だけで満足せず、プロンプトを重ねるよう促す ・LLMから出力された結果についても手分けしてファクトチェックを行うように促す
5分	まとめ	・本時についての振り返り ・次回の発表に向けての説明	

(5) 評価

- ① 多角的な視点からプランを作成しようとしているか？
- ② より良い出力結果を得るために、1回の入力だけでなく、複数回のプロンプト入力を行っているか？
- ③ ハルシネーションに注意して、店舗や施設の所在地や営業時間などの確認を行っているか？

評価観点例

① 多角的な視点からのプラン作成

評価	基準	具体的な記述例
A	旅行の目的を達成するために、多様な側面から具体的な希望や条件を提示し、ChatGPTに指示を出している。	- 観光スポット、宿泊施設、移動手段、食事、体験活動など、複数の要素をバランス良く盛り込み、具体的な希望(例:歴史的な建造物を見たい、地元の食材を使った料理を食べたい、予算は1万円以内など)を提示している。
B	2~3個程度の側面からの指示にとどまっている。	- 観光スポットと食事については具体的に希望を伝えているが、宿泊施設や移動手段については言及がない。
C	1つの側面からの指示のみ、または多様な視点からの指示ができていない。	- 「有名な観光地に行きたい」といった漠然とした希望のみで、具体的な行動や希望が伝わってこない。

② 試行錯誤と改善

評価	基準	具体的な記述例
A	最初の出力結果で満足せず、プロンプトの内容を修正したり、新たな条件を加えたりしながら、複数回入力を行い、より理想的な結果を得ようと努力している。	- ChatGPTの提案に対して、希望と異なる点があれば具体的に修正を指示する。さらに、より詳細な条件(例:宿泊は温泉旅館が良い、移動は電車のみが良いなど)を追加して再入力している。
B	1回プロンプトを修正して再入力しているものの、大きな変化は見られない。	- 出力結果の一部に希望と異なる点があったため、再入力を行ったが、プロンプトの修正点が不十分で、大きな改善には繋がっていない。
C	1回の入力で満足し、プロンプトの修正や再入力を行っていない。	- ChatGPTの出力結果が完全ではなくても、そのまま受け入れてしまっている。

③ ハルシネーションへの対応

評価	基準	具体的な記述例
A	ChatGPTが出力した情報について、公式ウェブサイトや地図アプリなどを用いて、店舗や施設の所在地や営業時間などを確認している。	- ChatGPTから提案された観光スポットやレストランについて、公式ウェブサイトで営業時間やアクセス方法などを確認し、情報の正確性を検証している。
B	一部の情報についてのみ確認を行っている。	- ChatGPTから提案された観光スポットについてのみ、公式ウェブサイトで開館時間を確認しているが、その他の情報については確認していない。
C	ChatGPTが出力した情報を鵜呑みにし、情報の確認を全く行っていない。	- ChatGPTが出力した情報をそのまま信じ、実在しない施設や誤った情報に気づいていない。

※ 補足

- 上記のルーブリックはあくまでも一例です。生徒のレベルや授業のねらいに応じて、評価基準や具体的な記述例を適宜変更してください。
- 各評価項目に重み付けをする場合は、授業の重点項目を考慮して決定すると良いでしょう。